

# 岩手県県産木材等の利用の促進に関する施策の実施状況

令和2年9月

# 目 次

## I 県産木材等の利用の促進口

### 1 住宅その他の建築物及び土木施設その他の工作物における県産木材等の利用の促進 .....1

基本方向①-ア 木造住宅における県産木材等の利用割合を高める取組を進めます。

基本方向①-イ 公共建築物のほか、非木造建築が主流であった民間商業施設等中大規模建築物の木造化・木質化を進めます。

基本方向①-ウ 住宅等の内装、調度品や土木施設などの分野において県産木材等の利用を進めます。

### 2 建築物等の工事における県産木材等の利用の促進 .....7

基本方向② 公共建築物、木造住宅、民間商業施設、マンション等建築物等の建築工事又は土木工事の工事資材において、県産木材等の利用を進めます。

### 3 エネルギー源としての利用等の県産木材等の有効利用 .....9

基本方向③ 用途に応じた木材利用を基本とし、未利用の間伐材や製材端材などを木質バイオマスエネルギーとして有効利用することを進めます。

### 4 県産木材等のブランド化や県産木材等の認証制度の普及 .....11

基本方向④-ア 消費者から信頼・支持されるブランド形成に向けた取組を進めます。

基本方向④-イ 岩手県産であることを明らかにする産地認証制度の普及を進めます。

### 5 県産木材等の新たな用途、加工技術等の研究開発 .....14

基本方向⑤ 県産木材等の需要創出につながる木材の新用途開発や実効性の高い加工・乾燥技術等の研究開発を進めます。

### 6 県産木材等の国内外への販路拡大 .....15

基本方向⑥ 消費地を開拓して県産木材等の新たな需要を掘り起こすため、国内外を視野に入れた販路拡大を進めます。

### 7 県の建築物等における県産木材等の率先利用 .....17

基本方向⑦ 県が自ら整備する建築物等において、木造化に積極的に取り組み、県産木材等の需要喚起を進めます。

## II 県産木材等の適切な供給の確保口

### 1 森林資源の循環利用を図るための森林の整備促進 .....19

基本方向⑧ 森林資源の循環利用につながる、再造林や間伐などを計画的に行い、適切な森林の整備を進めます。

### 2 林内路網等の県産木材の生産に係る基盤の整備や森林施業の効率化の促進 .....21

基本方向⑨ 林道・森林作業道等の整備、木材を効率的に生産する高性能林業機械の導入などの生産基盤の整備や、分散している小規模森林の施業を集約して生産性や効率性の向上に向けた取組を進めます。

### 3 県産木材等の流通及び加工の体制整備の促進 .....23

基本方向⑩ 市場の多様なニーズに応じた高い競争力を備えた県産木材等を円滑に供給するための流通・加工体制の整備を進めます。

### Ⅲ 人材の確保・育成、普及啓発等

#### 1 林業及び木材産業を担う人材の確保・育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

基本方向⑪ 林業及び木材産業の振興に資する、高い技術力を有する伐採や路網開設等の現場技能者等の幅広い人材育成の取組を進めます。

#### 2 県産木材製品を利用した建築物を建築するために必要な知識又は技術を有する設計者等の確保・育成・26

基本方向⑫ 中大規模建築物の木造化・木質化に携わる設計者や建築関係事業者など設計・施工に携わる関係者を対象に、県産木材等に係る知識の習得、木造建築技術の継承・向上、人材の育成等の取組を進めます。

#### 3 県産木材等に関する情報の発信など県産木材等の利用の促進に関する普及啓発・・・・・・・・・・27

基本方向⑬ 木材の良さや木の文化を気軽に学べる機会の創出や県産木材等の良さを知ってもらうための情報の発信など普及啓発を進めます。

#### 4 児童又は生徒の森林、林業及び県産木材等についての理解醸成の促進・・・・・・・・・・29

基本方向⑭ 児童又は生徒を対象に、森林や林業への理解を深め、木材の良さや利用の意義を学ぶ普及啓発を進めます。

#### 5 県産木材等利用推進月間の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

基本方向⑮ 県民に広く県産木材等についての関心と理解を深め、利用への意欲の向上を図るため、県産木材等利用推進月間を10月と定め、県産木材等の利用促進につながるイベント等を展開していきます。

### Ⅳ 岩手県県産木材等利用促進行動計画に掲げる指標の達成状況

#### 1 県産木材等の利用の促進に関する指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

- (1) 指標1 素材需要量
- (2) 指標2 素材需要量に対する県産木材の比率
- (3) 指標3 岩手県公共施設・公共工事での木材利用量
- (4) 指標4 エネルギー施設でのチップ利用量

#### 2 県産木材等の適切な供給の確保に関する指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・33

- (1) 指標1 素材生産量
- (2) 指標2 間伐材利用率
- (3) 指標3 再造林面積
- (4) 指標4 林道整備延長

#### 3 人材の確保・育成、普及啓発等に関する指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

- (1) 指標1 森林経営管理制度に基づく、意欲と能力のある林業経営体数(累計)
- (2) 指標2 「いわて林業アカデミー」の修了生数(累計)
- (3) 指標3 新規林業就業者数

## 岩手県県産木材等の利用の促進に関する施策の実施状況

### 県産木材等の利用の促進

#### ■基本的事項及び基本方向■

- 1 住宅その他の建築物及び土木施設その他の工作物における県産木材等の利用の促進  
ア 木造住宅における県産木材等の利用割合を高める取組を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ ポータルサイト「いわて木の家ナビ」を随時更新するなど、県産木材活用住宅に関する情報を容易に入手できる環境を整備した。
- ・ テレビガイドの紙面広告やPRカードの作成・配付など、県産木材を使用した住宅の情報を広く提供した。
- ・ 施主に対して県産木材の利用を積極的に提案する建築士や工務店等である「いわて森の棟梁」を対象として、一般流通材を活用した施設計画の方法や木造施設に関する人材育成に関する研修会を開催（2回）し、住宅への県産木材利用の拡大に向けた取組を行った。
- ・ 県産木材を利用する際に費用を支援する制度の「住みたい岩手の家づくり促進事業」において、新築の他、新たにリフォームも支援対象として県産木材利用の拡大を図った。（令和元年度実績：18件、木材使用量：423 m<sup>3</sup>）

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 岩手県産木材を活用した住宅・店舗のハンドブックを制作して、県産木材の様々な活用事例を周知した。[県森林組合連合会](#)
- ・ 県産木材利用パンフレット「岩手県産材木材利用の手引き」の配布、JAS構造材利用拡大に向けた新聞広告の掲載、県産木材用のぼり旗を作成した。[県木材産業協同組合](#)
- ・ 岩手県地域型復興住宅推進協議会に属する地域住宅生産者126グループ、構成員約1,400社を登録のうえ、木造による復興住宅の推進並びに県産木材の利用拡大を図った。（令和元年度1,646戸）[県建築士事務所協会](#)
- ・ 木造住宅取扱工務店へ経営指導の専門家を派遣し、経営革新計画策定等による支援を行った。[県商工会連合会](#)



「住みたい岩手の家づくり促進事業」を活用した住宅

## 【令和2年度の新たな取組】

### 《県の取組》

- ・ ポータルサイト「いわて木の家ナビ」について、サイトのリニューアルを実施した。
- ・ 「いわて森の棟梁」を対象として地域材を活用した施設計画の方法等に係る研修会を開催する。
- ・ 県産木材を利用する岩手型住宅の普及と「住みたい岩手の家づくり促進事業」の周知を図るため、関連イベントに出展予定である。

## 【令和3年度に向けた課題】

### 《県の取組》

- ・ 県内における住宅需要の喚起を図る必要がある。
- ・ 県産木材を活用した住宅を希望する施主に対し、木造住宅の設計や建築に関する情報を提供する必要がある。
- ・ 「住みたい岩手の家づくり促進事業」の事業効果を更に高めるための支援制度の見直しを進めるとともに、事業の確実な継続実施及び制度の更なる周知が必要である。

### 《構成団体等の取組》

- ・ 工務店等に対し、県産木材の情報提供の周知方法の検討が必要である。**県森林組合連合会**
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で新規住宅着工戸数が減少している中での木材需要拡大が必要である。**県木材産業協同組合**
- ・ 技術力向上のための講習会・研修会等の開催、被災者及び一般建築主への情報提供等が必要である。**県建築士事務所協会**
- ・ 木造住宅取扱工務店の経営に関する事業展開へのフォローが必要である。**県商工会連合会**

## 【トピックス】

### 「県産木材等を利用した住宅の情報発信等」(県農林水産部、岩手県森林組合連合会)

県では、住宅の建築・リフォームを考える施主が、岩手県産木材を利用しやすいように、相談窓口となる建築士・工務店などの情報を提供するポータルサイト「いわて木の家ナビ」で情報を発信しています。

また、施主に対して県産木材の利用を積極的に提案する建築士や工務店等の「いわて森の棟梁」の活動を促進するため、木造建築に関する研修会を開催しました。



「いわて木の家ナビ」のページ

参考：URL <http://kinoie-navi.iwatemoriren.org/>



いわて森の棟梁の研修の様子

## ■基本的事項及び基本方向■

### 1 住宅その他の建築物及び土木施設その他の工作物における県産木材等の利用の促進

イ 公共建築物のほか、非木造建築が主流であった民間商業施設等中大規模建築物の木造化・木質化を進めます。

## 【令和元年度実績】

### 《県の取組》

- ・ 市町村等が整備する集会施設等について、木造建築アドバイザーを派遣し、地域産材を活用して計画する場合の発注方法等の助言を行い、建築物の整備における木材利用を支援した。
- ・ 設計業者や工務店、木材加工事業者等を対象に、中大規模施設の木造化・木質化のポイント、木を生かした設計方法などの木造建築の専門家による研修会（2回）や県内の木造優良施設の現地研修（1回）を開催するなど県産木材の需要拡大や技術者等の育成に取り組んだ。
- ・ 公共施設や民間施設における木材利用拡大に向けた取組を進めるため、岩手県と県内の林業関係団体と連携して「いわて木材利用優良施設コンクール」を開催し、特色ある木材利用が図られている施設等を優良事例として表彰した。

### 《構成団体等の取組》

- ・ 本会と地域の森林組合とが連携しながら、公共施設及び民間施設等を建築・設計する関係者等に、県産木材の利活用の周知を行った。県森林組合連合会
- ・ 木造建築推進委員会を設置し、木造技術の研鑽、技術者の育成のため研修会、講習会の開催、優良木造施設の現地見学会の実施並びに木造建築アドバイザーの派遣などにより、木造建築の推進を図った。県建築士事務所協会



県内の優良木造施設現地研修会の様子

## 【令和2年度の新たな取組】

### 《県の取組》

- ・ 設計業者や工務店、木材加工事業者等を対象に、新たに木造建築の構造技術者育成の研修会を開催する。

### 《構成団体等の取組》

- ・ J A S 構造材利用拡大事業、外構部の木質化支援事業及び過剰木材在庫利用緊急対事業説明会の開催、同事業を実施する建築業者等への指導を行う。県木材産業協同組合
- ・ 事務所の建替において、壁材にスギのCLTを使用する。盛岡森林管理署



## 【令和3年度に向けた課題】

### 《県の取組》

- ・ 中大規模施設の木造・木質化に必要な建築技術及び県産木材等の調達に係る情報の共有や、木造建築物の良さをアピールする機会を作ることが必要である。

### 《構成団体等の取組》

- ・ 公共建築物に活用し易い県産木材を再確認して、建築士・施工者・製材所との情報共有を図ることが必要である。[県森林組合連合会](#)
- ・ 木造建築設計者の育成する必要がある。[県建築士事務所協会](#)

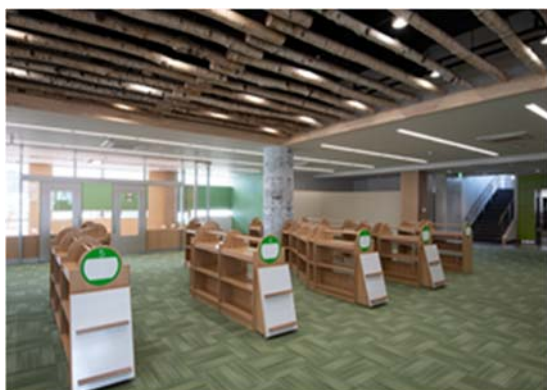
## 【トピックス】

### 「いわて木材利用優良施設コンクール」(県農林水産部)

県では、県内林業関係団体と連携し、いわて木材利用優良施設コンクールを開催し、優良な木材利用の取組事例として情報を発信しました。



多目的交流施設【木造】(陸前高田市)



情報交流施設【内装木質化】(久慈市)



民間の事務所【木造】(雫石町)



保育施設【木造】(盛岡市)



庁舎【内装木質化】(宮古市)

## ■基本的事項及び基本方向■

- 1 住宅その他の建築物及び土木施設その他の工作物における県産木材等の利用の促進  
ウ 住宅等の内装、調度品や土木施設などの分野において県産木材等の利用を進めます。

### 【令和元年度実績】

#### 《県の取組》

- ・ 県では、県庁1階県民室のパーテーションを県産アカマツ材とスギ材を使用して15台製作し、事務所における県産木材を使用した調度品の事例として、マスコミを通じて広く県民に周知した。
- ・ 市町村が整備する学校等の施設で、地域材を内装に使用するなど県産木材等が利用された。
- ・ 県が整備する土木施設において、県産木材等を使用した工法を採用するなど県産木材等の利用を図った。

#### 《構成団体等の取組》

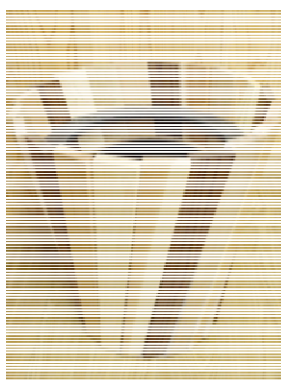
- ・ 住宅リフォームや店舗改装(葛巻町の公共宿泊施設である「ふれあい宿舎グリーンテージ」)などに対して、県産木材の内装材の供給を行った。県森林組合連合会
- ・ マンションリフォーム工事に伴う県産木材の床板等を供給した。県森林組合連合会
- ・ 土木用杭材のカラマツ細丸太の供給に注力した。ノースジャパン素材流通協同組合
- ・ 事務所内の備品・調度品に県産木材を使用した製品を特注で調達した。県産針葉樹と広葉樹を数種類(スギ、アカマツ、サクラ、クルミ、ナラ、シナ)組み合わせた意匠性と存在感に優れた製品(壁飾り、ティッシュボックス、ゴミ箱)を製作した。ノースジャパン素材流通協同組合



木製残存型柵



公共宿泊施設のレストラン部分(葛巻町)



県産木材を使用した特注製品(ノースジャパン素材流通協同組合事務所)



## 【令和2年度の新たな取組】

### 《県の取組》

- ・ 県庁1階県民室のカウンターなどを木質化し、広く県民に県産木材の利用事例を周知する。

## 【令和3年度に向けた課題】

### 《県の取組》

- ・ 住宅等の内装や調度品の整備に必要な情報を共有する必要がある。
- ・ 土木施設などの分野における県産木材等の利用を図る必要がある。

### 《構成団体等の取組》

- ・ 店舗・マンションリフォームなどの鉄筋コンクリート構造に適した製材品の販路開拓の検討が必要である。県森林組合連合会
- ・ 岩手県の針葉樹（杉・赤松・唐松）や豊富な広葉樹（ナラ・クリ・ケヤキなど）の木材を利用して、消費者ニーズに応じた製材品の開発が必要である。県森林組合連合会
- ・ 若齢人工林の減少に伴う細丸太の調達が必要である。ノースジャパン素材流通協同組合

## 〔トピックス〕

### 「県庁舎の内装木質化」（県農林水産部）

県では、県自らが率先して木材を利用しており、岩手県県産木材等利用促進基本計画策定を受け、木材利用の普及啓発と理解醸成を図るため、令和元年度には県庁6階エレベーターホールに県産木材によるベンチを、令和2年度には県民室に「わんこきょうだい」等のイラストを施した木製パーテーションを設置し県庁内の木質化に取り組みました。



木製パーテーション（県庁1階県民室）



お披露目会の様子



県産木材を使用したベンチ（県庁6階エレベーターホール）



■ 基本的事項及び基本方向 ■

2 建築物等の工事における県産木材等の利用の促進

公共建築物、木造住宅、民間商業施設、マンション等建築物等の建築工事又は土木工事の工事資材において、県産木材等の利用を進めます。

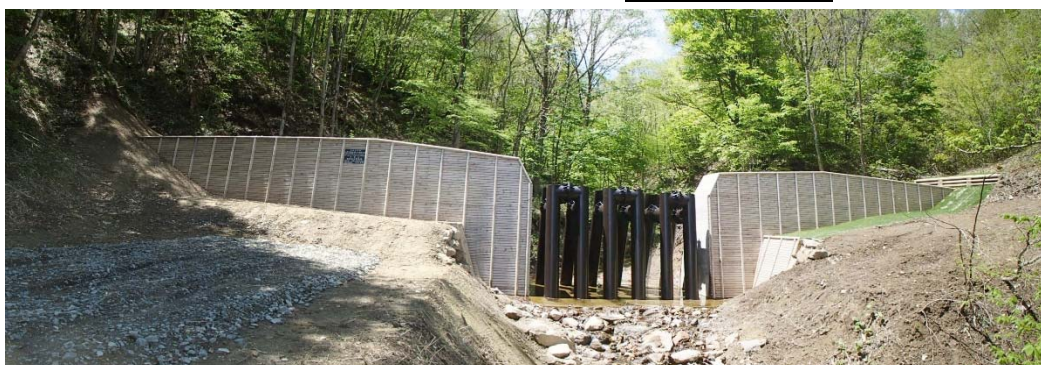
【令和元年度実績】

《県の取組》

- ・ 県産木材等を積極的に活用した工法や技術の向上に向け、森林土木事業木材利用施工地コンクールを開催し、土木施設などの分野において県産木材等の利用を図った。

《構成団体等の取組》

- ・ 県発注工事において、県産木材の利用に努めた。県建設産業団体連合会
- ・ 発注工事の木材工法普及及び利用推進に努めた。盛岡森林管理署



鋼製スリットダムの残存型枠（盛岡森林管理署）



間伐材を使用した「木製型枠パネル（木製残存型枠）」工法（盛岡森林管理署）



《森林土木事業木材利用施工地コンクール最優秀賞》

門戸地区防災林造成工事

森林管理道平野原線開設工事

**【令和2年度の新たな取組】**

《県の取組》

- ・ 県産木材等を積極的に活用した工法や技術の向上に向け、森林土木事業木材利用施工地コンクールを開催し、土木施設などの分野において県産木材等の利用を図る。

**【令和3年度に向けた課題】**

《県の取組》

- ・ 公共工事の木質化に必要な技術や県産木材等の調達に係る情報を共有する必要がある。

《構成団体等の取組》

- ・ 工事概要の早期情報共有による県産木材の調達、有効活用が必要である。県建設産業団体  
連合会



## ■基本的事項及び基本方向■

### 3 エネルギー源としての利用等の県産木材等の有効利用

用途に応じた木材利用を基本とし、未利用の間伐材や製材端材などを木質バイオマスエネルギーとして有効利用することを進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 産業分野への木質バイオマスボイラーの導入を促進するため、県が委嘱する木質バイオマスコーディネーターを活用した技術指導等を8回実施した。
- ・ 県内において木質バイオマス利用の更なる普及を図るため、地域で活動する意欲のある者を対象に、木質バイオマスコーディネーター等を講師として、地域サポーター養成研修を平成30年度と令和元年度の2か年に渡って開催し、研修を修了した20名を木質バイオマス利用地域サポーターとして認定した。
- ・ 木質バイオマスエネルギーの利用促進を図るため、フォーラムの開催による普及啓発を実施した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 伐採木の枝及び梢端部等をチップ化して、木質バイオマス資源の有効利用を図った。**県森林組合連合会**
- ・ 複数のバイオマス工場に対してバイオマス材の計画的納入を行っている。**ノースジャパン素材流通協同組合**
- ・ 木質バイオマスを含めた合法木材供給認定事業者研修会の開催。**県木材産業協同組合**



木質バイオマスコーディネーターによる指導



いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 令和元年度に認定した木質バイオマス利用地域サポーターのフォローアップ研修を行い、地域での木質バイオマス利用の動きを加速させる。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 木質バイオマスの利用拡大を図るため、木質バイオマスボイラーの導入促進の必要がある。
- ・ 地域の木質バイオマスエネルギーを、地域内で持続的に活用する仕組み作りを進め、地域熱供給の取組の必要がある。



## 《構成団体等の取組》

- ・ タワーヤーダ<sup>※1</sup>を活用して伐採木を全木集材<sup>※2</sup>で搬出し、これまで以上に木質バイオマス資源の増加を進める。**県森林組合連合会**
- ・ 林地残材を林道脇に寄せ、その場でチップ化する取組を推進する必要がある。**ノースジャパン素材流通協同組合**
- ・ 木質バイオマスを含めた合法木材<sup>※3</sup>の利用の重要性について普及、PRすること。**県木材産業協同組合**

※1：タワーヤーダ…簡易に架線集材できる人工支柱を装備した移動可能な集材機。(下記イメージ参照)

※2：全木集材…伐倒木をそのまま森林作業道端まで搬出して土場で造材する集材方法。

※3：合法木材…森林関係の法令において合法的に伐採されたことが証明された木材のこと。(正しい手続きで生産された木材のこと)

(参考) タワーヤーダの集材イメージ



タワーヤーダイメージ (出典：林野庁)

### 〔トピックス〕

#### 「木質バイオマスを活用した産業分野での地域的な熱利用の取組」

久慈バイオマスエネルギー株式会社(久慈市)では、地域内の木質バイオマス(チップ、バーク、製材端材、使用済菌床)を活用し、隣接する菌床しいたけ生産施設への熱供給を行っています。

供給された熱は菌床の殺菌やハウスの温度管理用に活用されるなど、未使用な森林資源を活用した地域的な熱利用が展開されています。



木質バイオマスボイラー



菌床栽培での熱利用

## ■基本的事項及び基本方向■

### 4 県産木材等のブランド化や県産木材等の認証制度の普及

ア 消費者から信頼・支持されるブランド形成に向けた取組を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ J A S 製品の利用を促進するため、市町村職員や建築士等を対象とした研修会（令和2年1月15日開催）において、県内 J A S 認証工場に関する情報を周知するとともに J A S 製品の利用を働きかけた。
- ・ 全国規模の木材製品展示会である「WOOD コレクション」（本県からは11事業体等が出展）への出展を支援し、県産木材等の販路拡大の取組を促進した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 供給する製材品は、全て「岩手県産材産地証明書」が発行できる体制にしている。**県森林組合連合会**
- ・ 岩手くずまき高原カラマツ認証協議会では、環境に配慮し生産された「岩手くずまき高原カラマツ」を認証し、合法木材として出荷する取組を実施しており、令和元年度は、首都圏の工務店に791 m<sup>3</sup>を出荷した。**県森林組合連合会**
- ・ 「J A S 製材品普及推進展示会」（東京都）への出展や「いわてブランド材・岩手県産製材品展示特売会」（千葉県成田市）を開催した。**県木材産業協同組合**



岩手くずまき高原カラマツの伐採



認証カラマツを活用した住宅

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 柱、梁、フローリングや壁など、県産木材を使った建材の性能や取扱事業所等を取りまとめたパンフレットを製作・配付し、国内外への販路拡大に向けて情報を発信する。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 首都圏等の木材市場などで地域ブランド材のPRを行うなど、県産木材等の積極的な情報発信や売込活動を行う必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 発注元の市町村産の木材指定がある場合でも、安定供給が可能な体制を構築する必要がある。**県森林組合連合会**
- ・ 「J A S 製材品普及推進展示会」、「いわてブランド材・岩手県産製材品展示特売会」開催の周知を図り、多くの組合員の参加を促す必要がある。**県木材産業協同組合**

**〔トピックス〕**

**「地域ブランド材のPR<気仙杉の取組事例>」(県農林水産部)**

大船渡農林振興センターでは、気仙地方林業振興協議会及び管内の製材業者と連携し、首都圏木材製品市場における気仙材特別市の開催や市場関係者等との意見交換を実施するなど、気仙杉の販売促進活動やPRを行いました。



首都圏木材製材市場における  
気仙材特別市・意見交換



木材商社との意見交換



## ■基本的事項及び基本方向■

### 4 県産木材等のブランド化や県産木材等の認証制度の普及

イ 岩手県産であることを明らかにする産地認証制度の普及を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザへの県産木材の提供において、マスコミを通じて高品質な県産木材や森林認証材をPRした。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 岩手県産材産地証明書<sup>\*</sup>を発行した。県森林組合連合会、ノースジャパン素材流通協同組合
- ・ 岩手県産材認証推進協議会の構成員として制度の普及を図った。県木材産業協同組合



オリパラに提供したアカマツ  
(森林認証材)の伐採



オリパラ提供材の加工状況



オリパラへの提供木材出発式



県産木材を使用したオリパラ選手村施設

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 引き続き、高品質な県産木材や森林認証材に関する情報発信を行う。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 県産木材の産地証明制度のPRなど、県産木材等の認知度や信頼度等の普及を図る必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 事業者への産地証明制度の普及啓発が必要である。ノースジャパン素材流通協同組合
- ・ 県産材産地証明の適正な運用を周知する必要がある。県木材産業協同組合

<sup>\*</sup>岩手県産材産地証明書…岩手県産であることが証明された木材・木製品等について交付されるもの。製品の素材生産・加工履歴を確認できる。



## ■基本的事項及び基本方向■

### 5 県産木材等の新たな用途、加工技術等の研究開発

県産木材等の需要創出につながる木材の新用途開発や実効性の高い加工・乾燥技術等の研究開発を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 大径材の用途として有力なC L Tや集成材等のラミナについて、スギ大径材から製材されるラミナの強度や乾燥後の狂いを調査した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 木材乾燥時間を短縮するため、真空状態で木材内部にマイクロ波（電磁波）を当てて加熱処理を行う減圧乾燥機の研究開発に協力した。[県森林組合連合会](#)
- ・ 岩手県林業技術センターにスギ赤身を使った土台の新商品開発の可能性を研究要請し、共同研究を行った。[ノースジャパン素材流通協同組合](#)
- ・ 「木材乾燥士」等技術養成研修の情報を提供した。[県木材産業協同組合](#)

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ スギ、アカマツ大径材での集成材ラミナ等の強度性能、乾燥方法等を調査する。
- ・ 広葉樹資源の高付加価値化に向けた技術開発として、樹種別に乾燥試験を実施する。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 木材加工技術の開発等に当たっては、民間企業等と連携し共同研究を行うなど、開発した技術の普及定着に向け、支援体制を整備する必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ マイクロ波を利用した減圧乾燥機の実用化に向けて、更に研究開発に協力していく必要がある。[県森林組合連合会](#)
- ・ 人工乾燥製材品のJ A S認証に取り組む製材工場への支援の必要がある。[県木材産業協同組合](#)

#### 【トピックス】

##### 「C L Tや集成材等の製造コスト低減につながる技術開発」（県農林水産部）

大径材の用途として有力なC L Tや集成材等の製造コスト低減につながる技術開発へ取組み、スギ大径材から製材されるラミナの強度や乾燥後の狂いを調査しました。

その結果、径級の大きい丸太では、樹皮側の強度が高い値で安定したラミナが多くなり、集成材等を製造する際に必要な強度のラミナが効率良く得られることを確認しました。



強度試験の状況



ラミナの人工乾燥試験の状況

## ■基本的事項及び基本方向■

### 6 県産木材等の国内外への販路拡大

消費地を開拓して県産木材等の新たな需要を掘り起こすため、国内外を視野に入れた販路拡大を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 全国規模の木材製品展示会である「WOOD コレクション」（本県からは 11 事業者等が出展）への出展を支援し、県産木材等の販路拡大の取組を促進した。
- ・ 名古屋城天守閣木造復元工事への木材供給について、令和元年度には、約 900 本のアカマツ梁材を供給することとなり、県内の素材生産団体等と連携し、供給するアカマツ材を確保した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 台湾・中国に向けて県産木材製品のPR材の供給をした。**県森林組合連合会**
- ・ 島根県・宮城県への船によりアカマツ材を出荷した。**ノースジャパン素材流通協同組合**
- ・ 「JAS 製材品普及推進展示会」への出展、東京都主催「WOOD コレクション」へ参加した。**県木材産業協同組合**
- ・ 薪炭業者に経営指導の専門家を派遣し、事業計画策定を支援した。**県商工会連合会**



名古屋城向けのアカマツ特殊材



台湾の農家住宅で使用された県産木材

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 柱、梁、フローリングや壁など、県産木材を使った建材の性能や取扱事業者等を取りまとめたパンフレットを製作・配付し、国内外への販路拡大に向けて情報を発信する。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 全国規模で行われる木材製品展示会に出展や、県内製材事業者等と県内外の木材製品取扱事業者とのマッチング支援などにより、アカマツや広葉樹をはじめ高品質な県産木材等の販路開拓を図る必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 本会の上部団体である全国森林組合連合会と連携して、県産木材の輸出を検討している。

**県森林組合連合会**

- ・ 船積の日程調整がスムーズに行えるよう荷役業者と協議を続ける必要がある。ノースジャ  
パン素材流通協同組合
- ・ 「JAS 製材品普及推進展示会」展示会及びWOOD コレクション開催を広く周知し、多くの企業・団体の参加を促す必要がある。県木材産業協同組合
- ・ 経営に関する事業計画に基づく事業展開のフォローの必要がある。県商工会連合会

## 〔トピックス〕

### 「県産木材製品の販路拡大の取組」(県農林水産部、県木材産業協同組合)

令和元年12月に、木材製品展示会「WOOD コレクション (モクコレ) 令和元年」が東京ビッグサイトを会場に開催され、県内の企業、団体11社が参加・出展し、県外の工務店等に県産木材等のPRを行いました。

特に、岩手県木材需要拡大協議会のブースでは、岩手県産カラマツの機械等級区分構造用製材等のJAS製材品、アカマツの人工乾燥平角材等の展示を行いました。また、岩手県産のスギ、カラマツ及びアカマツ3種類の木材を組み合わせた天板で作製したテーブルを展示しました。



出展した県木材需要拡大協議会のブース



商品説明の様子



## ■ 基本的事項及び基本方向 ■

### 7 県の建築物等における県産木材等の率先利用

県が自ら整備する建築物等において、木造化に積極的に取り組み、県産木材等の需要喚起を進めます。

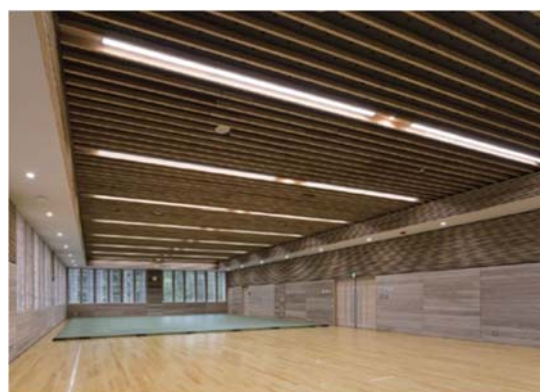
#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 県が行う公共施設整備及び公共工事において率先して県産木材の利用を推進するため、副知事を本部長とする岩手県公共施設公共工事木材利用推進本部会議を開催し、推進目標の達成に向けて庁内連携により取り組んだ。
- ・ 県が整備する施設では、県営災害公営住宅が木造で13棟整備されるなど県産木材等の利用を図った。
- ・ 令和元年度の木材利用実績は公共施設整備については、災害公営住宅、学校や交番の整備などの構造材や内装材などに1,310m<sup>3</sup>、公共工事については、林道事業や海岸防災林整備、道路改良工事の型枠、工事資材などに1,696m<sup>3</sup>利用した。



岩手県公共施設・公共工事木材  
利用推進本部会議の開催状況



内装木質化した県有施設  
(釜石警察署道場)



県有施設の木造化（災害公営住宅）



高田松原地区災害復旧工事 防風工

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 岩手県公共施設公共工事木材利用推進本部会議を岩手県県産木材等利用促進行動計画の推進体制の一部と位置づけ、推進目標の達成に向けて庁内連携により取り組んでいる。



- ・ 公共施設整備については、盛岡市青山地区の災害公営住宅、新しい建築部材のCLTを活用した伊保内高等学校の整備など、公共工事については、治山事業や道整備良工事の型枠、工事資材などで木材を利用することとしている。

### 【令和3年度に向けた課題】

#### 《県の取組》

- ・ 公共施設の木造・木質化に必要な建築技術や県産木材等の調達に係る情報を共有する必要がある。

#### 《構成団体等の取組》

- ・ 県産木材の製材品カタログを作成して、より需要拡大に繋げる。県森林組合連合会

## ■ 基本的事項及び基本方向 ■

### 8 森林資源の循環利用を図るための森林の整備促進

森林資源の循環利用につながる、再生林や間伐などを計画的に行い、適切な森林の整備を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 森林の有する水源の涵養、林産物の供給等の多面的機能の維持・増進を図るため、伐採から再生林までの「一貫作業」や「低密度植栽」などにより伐採跡地への再生林や間伐等の支援を実施した。（再生林面積：830ha、間伐面積：4,124ha）
- ・ 森林施業の集約化に向けて、「岩手県意欲と能力のある林業経営体」の経営力や技術力の向上を図るため、経営改善セミナー等を実施した。（セミナー等：2回、専門家派遣：3経営体）
- ・ 市町村において森林経営管理制度を円滑に運用できるよう、県の現地機関に森林管理システム構築推進員を配置し技術的な助言を行うなど、市町村への業務支援を実施した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 県内の林業関係団体が構成員とする「岩手県森林再生機構」（事務局：県森林組合連合会）では、1ha当たり10万円を上限に平成30年度から再生林助成金を交付している。  
（令和元年度実績：交付先17事業体（109人）、対象植栽面積198ha、助成金交付額14,642千円）**県森林組合連合会、ノースジャパン素材流通協同組合、県木材産業協同組合**



再生林されたカラマツ林



間伐実施後の森林

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 森林経営計画の作成等による施業の集約化を図るため、リーディングプランナーを養成・活用する（養成予定：延べ18名、活用予定：2経営体）。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 令和2年度は、再生林助成金の交付要件を緩和して対象面積を増やすこととし、森林資源の循環利用を進める。**県森林組合連合会**

## 【令和3年度に向けた課題】

### 《県の取組》

- ・ 森林資源の循環利用など森林が持つ多面的機能の維持・増進に支障を来さないよう、伐採跡地への再造林や間伐を行っていく必要がある。
- ・ 森林経営計画の作成等により施業の集約化を図り、森林組合や林業事業者による計画的な間伐を促進する必要がある。
- ・ 森林経営管理制度の取組が着実に進むよう、地域の実情に応じた市町村への業務支援を行っていく必要がある。

### 《構成団体等の取組》

- ・ 森林所有者及び伐採業者等に再生機構の助成金交付制度の仕組み等を周知し、再造林面積の増加を図る必要がある。県森林組合連合会
- ・ 再造林への労働力確保、木材需要の喚起の必要がある。ノースジャパン素材流通協同組合
- ・ 組合員へ基金事業制度を周知し協力者として参加を促す必要がある。県木材産業協同組合

## 【トピックス】

### 「再造林促進の取組（岩手県森林再生機構植樹祭の開催）」（県農林水産部、岩手県森林再生機構）

岩手県森林再生機構では、平成30年度から低コストな再造林への助成を開始しており、さらなる助成制度の普及・啓発のため、令和2年度に初めて「岩手県森林再生機構植樹祭」を開催しました。



植樹活動の様子や普及看板の設置（盛岡市）

## ■基本的事項及び基本方向■

### 9 林内路網等の県産木材の生産に係る基盤の整備や森林施業の効率化の促進

林道・森林作業道等の整備、木材を効率的に生産する高性能林業機械の導入などの生産基盤の整備や、分散している小規模森林の施業を集約して生産性や効率性の向上に向けた取組を進めます。

## 【令和元年度実績】

### 《県の取組》

- ・ 県産木材の安定供給体制の構築に向けて、林業・木材産業成長産業化促進対策交付金等を活用し、高性能林業機械の整備とリースによる導入を支援（支援実績：7台）した。
- ・ 農山漁村地域整備交付金等を活用し、林業生産性の向上や木材の安定供給を図るための基盤となる林道を整備した。（22路線）
- ・ 森林整備事業や合板・製材・集成材生産性向上・品目転換促進事業を活用し、森林作業道の整備を支援した。（森林作業道：107 km）
- ・ 丈夫で簡易な路網作設の促進に向けて、オペレーターの技術向上を図るため、路網作設高度技能者育成研修を実施した。（修了者：5名）
- ・ 地域の森林管理の主体となる「岩手県意欲と能力のある林業経営体」の登録・公表を実施した。（令和2年3月末時点 82 経営体）
- ・ 森林施業の集約化に向けて、「岩手県意欲と能力のある林業経営体」の経営力や技術力の向上を図るため、経営改善セミナー等を実施した。（セミナー等：2回、専門家派遣：3経営体）

### 《構成団体等の取組》

- ・ 県森林組合連合会から森林組合に対し、再リース方式による高性能林業機械の導入を支援した。県森林組合連合会
- ・ トレーラーが入れる路網の整備等について国や県に要望活動した。ノースジャパン素材流通協同組合
- ・ 高性能林業機械の導入を支援する岩手県林業・木材産業改善資金、林業施設整備等利子補給事業等を周知した。県木材産業協同組合



森林管理道（翁沢線）



森林管理道（洪梨一ノ渡線）



## 【令和2年度の新たな取組】

### 《県の取組》

- ・ ICT等を活用した丈夫で効率的な施業が可能な作業道開設技術を普及するため、路網作設高度技能者育成研修を実施する。(受講予定：6名)
- ・ 森林経営計画等の作成等による施業の集約化を図るため、リーディングプランナーを養成・活用する。(養成予定：延べ18名、活用予定：2経営体)

## 【令和3年度に向けた課題】

### 《県の取組》

- ・ 近年の合板工場や木質バイオマス発電施設の稼働等により、木材の需要構造が大きく変化していることから、今後の動向を注視し、効率的な高性能林業機械の整備を支援する必要がある。
- ・ 林業生産性の向上や木材の安定供給を図るため、市町村が設定する路網整備や施業集約化を推進する区域において、重点的に林道の整備を進めていく必要がある。
- ・ 環境に配慮するとともに、造林や間伐などの保育から主伐までの施業に使用可能な、丈夫な作業道づくりを普及していく必要がある。
- ・ 林業経営体に所属する森林施業プランナーの多くが、森林経営計画の作成など経験が不足しているため、実践力のさらなる向上の必要がある。

### 《構成団体等の取組》

- ・ 高性能林業機械や原木運搬トラックの導入に対する補助金申請をサポートする必要がある。

**ノースジャパン素材流通協同組合**

- ・ 林業関係融資制度、利子補給事業を周知し、組合員の要望に的確に対応する必要がある。

**県木材産業協同組合**

## 【トピックス】

### 「森林管理道雪沢・松の倉沢線開通」(森林保全課)

森林管理道雪沢・松の倉沢線(陸前高田市)が令和2年3月に全線開通しました。

林内路網の幹線となる雪沢・松の倉沢線の完成により、木材生産の低コスト化や森林整備の効率化が進み、間伐材等の木材生産量の増加や水源かん養、県土の保全等、森林の有する多面的機能の発揮が期待されます。



開通した林道の全景



木材運搬のトラックもすれ違い可能な退避所

## ■ 基本的事項及び基本方向 ■

### 10 県産木材等の流通及び加工の体制整備の促進

市場の多様なニーズに応じた高い競争力を備えた県産木材等を円滑に供給するための流通・加工体制の整備を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 県産木材の安定供給体制の構築に向けて、林業・木材産業成長産業化促進対策交付金等を活用し、高性能林業機械の整備とリースによる導入を支援（支援実績：7台）した。
- ・ 県産木材の安定供給体制を整備するため、県内素材生産団体等で構成する県産木材供給連絡会議を2回開催し、木材需給の情報共有を図った。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 原木の需要と供給のマッチングの役割を果たした。[ノースジャパン素材流通協同組合](#)
- ・ 「岩手県林業成長化総合対策事業」等の補助事業を周知した。[県木材産業協同組合](#)



県産木材供給連絡会議の様子



補助事業により導入したグラップル付トラック

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して、県内素材生産団体等で構成する県産木材供給連絡会議を月1回程度開催し、木材需給の情報共有を図っている。また、国や県の支援策等の情報についても提供した。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 県産木材等が安定的かつ継続的に供給されるよう、国の補助事業等の活用などにより、木材加工流通施設の整備を支援する必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ コロナ感染拡大の影響で厳しい状況だが、きめ細かな情報提供により納入先を確保する必要がある。[ノースジャパン素材流通協同組合](#)
- ・ 補助事業を周知し、組合員の要望に的確に対応する必要がある。[県木材産業協同組合](#)

## ■ 基本的事項及び基本方向 ■

### 11 林業及び木材産業を担う人材の確保・育成

林業及び木材産業の振興に資する、高い技術力を有する伐採や路網開設等の現場技能者等の幅広い人材育成の取組を進めます。

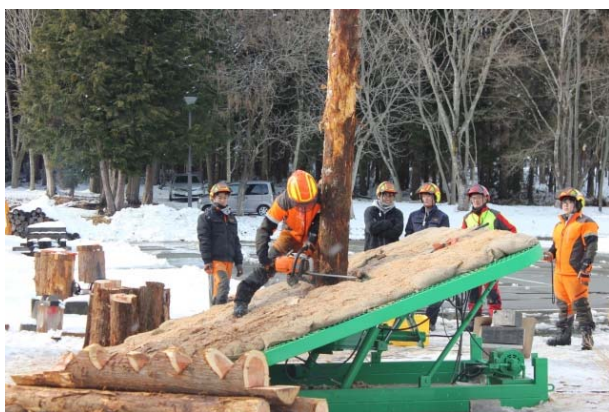
#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 「いわて林業アカデミー」の第三期生 16 名中 15 名が県内の森林組合や民間事業体等に就職した。(修了生数：累計 49 名)
- ・ (公財)岩手県林業労働対策基金と連携し、新規就業者の確保に向けた就職相談会を開催したほか、「緑の雇用」事業により新規就業者 28 名を育成した。
- ・ 地域の森林管理の主体となる「岩手県意欲と能力のある林業経営体」の登録・公表を実施した。(令和 2 年 3 月末時点 82 経営体)
- ・ 森林施業の集約化に向けて、「岩手県意欲と能力のある林業経営体」の経営力や技術力の向上を図るため、経営改善セミナー等を実施した。(セミナー等：2 回、専門家派遣：3 経営体)
- ・ 林業労働災害の未然防止に向けて、岩手県伐木技術指導員を育成・認定し、林業経営体の現場技能者を対象に、安全な伐木技術を指導した。(認定数 9 名、技術指導 3 回)
- ・ 県立峰南高等支援学校の加工生産科木工班では、教育課程の中で県産のホオノキを使って、小箱、コースター、カッティングボードなどを製作し、数作品は「チャレンジいわてアビリンピック※」に出場した。
- ・ 林業関係団体と連携し、「緑の雇用」事業実施林業事業体に対する安全指導の実施及び認定事業主の安全診断を実施した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 森林組合等では、「緑の雇用」事業等の研修制度を活用し、現場技能者の育成を行った。**県森林組合連合会**
- ・ 「いわて林業アカデミー」運営協議会委員やサポートチームの構成員として講義・研修等を支援した。**県森林組合連合会・ノースジャパン素材流通協同組合・県木材産業協同組合・盛岡森林管理署・岩手大学農学部**
- ・ 伐倒練習機の開発事業者へ経営指導の専門家を派遣し、経営計画策定等による支援を行った。**県商工会連合会**



いわて林業アカデミーでの伐倒研修の様子



「緑の雇用」事業での技術研修の様子





岩手県立盛岡峰南高等支援学校加工生産科木工班の作品及び製作の様子

### 【令和2年度の新たな取組】

#### 《県の取組》

- ・ 「いわて林業アカデミー」において、林業への就業を希望する若者に対し、森林・林業の知識や技術の体系的な習得を支援する。(令和2年研修生17名)
- ・ (公財)岩手県林業労働対策基金と連携し、新規就業者の確保に向けた就職相談会の開催や森林施業に必要な技術研修、就労条件改善等の取組を支援する。
- ・ 経験の浅い森林施業プランナーを指導するリーディングプランナーを養成・活用する。(養成予定：延べ18名、活用予定：2経営体)

### 【令和3年度に向けた課題】

#### 《県の取組》

- ・ 高まる木材需要や伐採後の造林や森林整備に対応するため、就業希望者の裾野の拡大や新規就業者の確保・育成に向けた取組の必要がある。
- ・ 林業経営体に所属する森林施業プランナーは、森林経営計画の作成から造林等の作業受託に至る幅広い役割を担うことから、地域特性を踏まえた実践力向上の必要がある。
- ・ 林業関係団体と連携し、林業事業体における林業労働災害の未然防止を図る必要がある。

#### 《構成団体等の取組》

- ・ 伐倒練習機の開発事業者に対する経営に関する事業展開へのフォローの必要がある。県商工会連合会
- ・ 現場技能者の技術向上の必要がある。県森林組合連合会

### 【トピックス】

#### 「岩手県伐木技術指導員による伐木技術普及研修の実施」(県森林整備課)

県では、岩手県伐木技術指導員を育成・認定し、林業経営体の現場技能者を対象に、安全な伐木技術を指導する「伐木技術普及研修」を県内3会場で実施しました。



点検整備の指導



伐木技術の指導

※チャレンジいわてアビリンピック…正式名称「岩手県障がい者技能競技大会」の名称。障がい者が日ごろ培った技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や広く県民一般が障がい者に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図るため、毎年開催されているもの。



## ■基本的事項及び基本方向■

### 12 県産木材製品を利用した建築物を建築するために必要な知識又は技術を有する設計者等の確保・育成

中大規模建築物の木造化・木質化に携わる設計者や建築関係事業者など設計・施工に携わる関係者を対象に、県産木材等に係る知識の習得、木造建築技術の継承・向上、人材の育成等の取組を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 市町村等が整備する集会施設等について、木造建築アドバイザーを派遣し、地域産材を活用して計画する場合の発注方法等の助言を行い、建築物の整備における木材利用を支援した。
- ・ 設計業者や工務店、木材加工事業者等を対象に、中大規模施設の木造・木質化のポイント、木を生かした設計方法などの木造建築の専門家による研修会（2回）や県内の木造優良施設の現地研修（1回）を開催するなど県産木材の需要拡大や技術者等の育成に取り組んだ。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 木造建築推進委員会を設置し、木造技術の研鑽、技術者の育成のため研修会、講習会の開催、優良木造施設の現地見学会の実施並びに木造建築アドバイザーの派遣などにより、木造建築の推進を図った。県建築士事務所協会

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 設計業者や工務店、木材加工事業者等を対象に、新たに木造建築の構造技術者育成の研修会を開催する。
- ・ いわて森の棟梁を対象として地域材を活用した施設計画の方法等に係る研修会を開催する。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 中・大規模な木造建築に関する専門的かつ高度な知識・技術を有する建築士を養成するため、県産木材等に係る知識の習得、木造建築技術の継承・向上、人材の育成等の取組を進める必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 木造建築の設計者や技術者の育成は、単発的な研修で達成できるものではなく、時代に即した技術研修を継続的に行い知識や技術を積み重ねる必要がある。県建築士事務所協会

#### 【トピックス】

##### 「非住宅分野における建築士等の人材育成」（県農林水産部、県建築士事務所協会）

県では、市町村の木材利用の取組を支援するため、木造建築アドバイザーを8名委嘱し、木造建築アドバイザーの派遣による技術指導等を実施したほか、岩手県建築士事務所協会に委託し、建築士や工務店など、デザインや設計、施工に従事する技術者等を対象とした研修会を開催するなど、木造建築に携わる人材育成に取り組んでいます。



木造建築アドバイザーによる設計指導等



建築士等を対象とした研修

## ■基本的事項及び基本方向■

### 13 県産木材等に関する情報の発信など県産木材等の利用の促進に関する普及啓発

木材の良さや木の文化を気軽に学べる機会の創出や県産木材等の良さを知ってもらうための情報の発信など普及啓発を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 10月に、東京の松屋銀座店で行われた漆器の展示販売会を通じて県産木材等の利用の促進に関する普及啓発を実施。
- ・ 11月にアピオ会議場で実施した「漆 DAYS いわて 2019」及び「KOUGEI EXPO IN IWATE（伝統的工芸品月間国民会議全国大会）」で漆器の展示や販売を通じた普及啓発を実施した。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 岩手県県産木材等利用促進基本計画等を周知した。[県商工会連合会](#)
- ・ 県委託事業で、工務店等に対する県産木材に関する研修会を実施した。[県森林組合連合会](#)
- ・ 県産木材利用パンフレット「岩手県産材木材利用の手引き」を配布した。[県木材産業協同組合](#)
- ・ 県産木材等PRイベントを開催した。[県木材産業協同組合](#)
- ・ 全国の44の経済同友会、達増岩手県知事を含む41都道府県知事及び48市町村長が発起人となり、令和元年11月に発足した「木材利用推進全国会議\*」へ参画した。[岩手経済同友会](#)

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 「漆 DAYS いわて」や百貨店での展示販売会を通じて県産木材等の利用の促進に関する普及啓発を実施する。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 漆器の展示販売を通じて県産木材等の利用の促進を図ってきているが、実際に使用されている木材の種類や産地なども紹介する必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ コロナウィルスによる影響を踏まえ、工務店等に対する県産木材に関する普及啓発の仕方を検討する必要がある。[県森林組合連合会](#)
- ・ ホームページの活用による情報発信の必要がある。[県木材産業協同組合](#)

※木材利用推進全国会議…この会議は、木材生産から最終消費に至る様々な事業者や地方自治体が一堂に会し、勉強会や情報交換を重ねながら、国産木材を利用しやすい環境づくり、木材利用が環境や社会に与える価値の共有、林業分野の生産性向上と新たな技術の普及などに向けた活動を展開するもの。

## 【トピックス】

### 「漆器の展示販売を通じた木材利用の普及啓発」（県商工労働観光部）

県では、漆器の展示や販売などを通じて、木地で利用されている県産木材等の利用について紹介しています。

令和元年10月に東京の松屋銀座店で開催した「いわてのうるし 浄法寺漆」展では漆器販売の対応を塗師が行うことにより、木地で使用されている木材の種類なども説明しています。

また、同年11月には、岩手産業文化センターアピオで開催した「KOUGEI EXPO IN IWATE (伝統的工芸品月間国民会議全国大会)」や同時開催した「漆 DAYS いわて 2019」で漆器の展示や販売を実施しました。

イベント全体で8万4千人の来場があったことから、多くの方に、伝統工芸や漆文化の紹介に加えて県産木材等の利用について紹介しました。



松屋銀座での展示販売会



KOUGEI EXPO IN IWATE での展示販



漆 DAYS いわて 2019 での紹介

## ■基本的事項及び基本方向■

### 14 児童又は生徒の森林、林業及び県産木材等についての理解醸成の促進

児童又は生徒を対象に、森林や林業への理解を深め、木材の良さや利用の意義を学ぶ普及啓発を進めます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 県民の方々に広く森林・林業の普及啓発を図るため、いわての森林づくり県民税を活用して、県内の小学校 25 校で森林学習会を開催し、506 人が参加した。[いわて森のゼミナール推進事業]
- ・ 地域住民や各種団体等が主体的に取り組む森林づくりや森林環境学習の支援、広く県民が利用する施設への県産木材・木製品の整備などを通じ、県民の森林環境保全に対する理解の醸成を図るため、いわての森林づくり県民税を活用し、36 団体の活動を支援した。[県民参加の森林づくり促進事業]



児童への森林環境学習



保育園への木製パーゴラの設置

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 県民の方々に広く森林・林業の普及啓発を図るため、引き続き、児童・生徒等を対象に森林学習会を開催している。
- ・ 県民の森林環境保全に対する理解の醸成を図るため、引き続き、地域住民や各種団体等が主体的に取り組む森林づくりや森林環境学習の支援、多くの県民が利用する施設への県産木材・木製品の整備などを支援している。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 県民の森林・林業に対する理解を醸成するため、児童生徒をはじめ広く県民を対象として、多様な森林環境学習の機会を提供する必要がある。
- ・ 県民の森林づくりへの理解の醸成と積極的な参画を促進するため、多くの地域住民や団体等が主体的に取り組むことができるよう支援を広げていく必要がある。
- ・ 児童・生徒をはじめとする多くの県民が、木との触れ合いを通じて、木材利用の意義や森林づくりの大切さの理解を深めるため、県産木材の温もりや心地よさを身近に感じることができる環境を整備する必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 地域の森林組合と連携しながら、県産木材の児童用家具（椅子・テーブル等）の普及活動を行う必要がある。県森林組合連合会



## ■基本的事項及び基本方向■

### 15 県産木材等利用推進月間の設定

県民に広く県産木材等についての関心と理解を深め、利用への意欲の向上を図るため、県産木材等利用推進月間を10月と定め、県産木材等の利用促進につながるイベント等を展開していきます。

#### 【令和元年度実績】

##### 《県の取組》

- ・ 「いわての森林の感謝祭」(大船渡市)、「いわて木質バイオマスエネルギーフォーラム」(盛岡市)において、岩手県県産木材等利用促進条例の説明パネルや木材製品の展示などを行うブースを設定し、木材利用促進の普及啓発を行った。
- ・ 木に親しむなどのイベントを10月に集中的に実施するよう市町村や林業関係団体等への働きかけるとともに、新聞に県民が気軽に木材に親しめるイベント情報を掲載した。
- ・ 県内において、広域振興局や木材関係団体等が中心となり、10月を中心に、県内各地で親子木工教室などのイベントを行った。

＜開催実績等＞ ※ 一部、推定でイベント参加人数を算出している

◆開催回数 35件(うち、木工体験など木材に直接触れ合うイベントは27件)

◆参加人数 約3,400人(うち、体験型のイベントに参加したのは約2,500人)

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 県と連携し関連イベントの開催、新聞広告等を活用した普及啓発を実施した。**県木材産業協同組合**
- ・ 木材利用推進月間の周知活動を実施した。**県商工会連合会**



いわての森林の感謝祭での木材利用啓発ブース



丸太切り競争

#### 【令和2年度の新たな取組】

##### 《県の取組》

- ・ 木質バイオマスフォーラムを拡充し、木材利用推進フォーラムを開催する。

#### 【令和3年度に向けた課題】

##### 《県の取組》

- ・ 県民向けの木材利用促進のイベントの開催等により、広く県産木材等利用推進月間を周知する必要がある。

##### 《構成団体等の取組》

- ・ 県と連携し関連イベントの開催、新聞広告等を活用した普及、啓発の必要がある。**県木材産業協同組合**

#### IV 岩手県県産木材等利用促進行動計画に掲げる指標の達成状況

##### 1 県産木材等の利用の促進に関する指標

###### (1) 指標 1 素材需要量※ (単位：千m<sup>3</sup>)

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	1,278	1,305	1,320	1,335	1,346
実績値		1,332			
達成度		A			
評価	東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザへの県産木材の提供を通じた高品質な県産木材のPRなど需要創出に取り組んだ結果、令和元年の素材需要量は1,332千m <sup>3</sup> となりA評価となりました。				

※ 1年間に県内の製材工場、合板工場、チップ工場等の木材加工施設で消費される素材（原木）の材積

###### (2) 指標 2 素材需要量に対する県産木材の比率 (単位：%)

年度	現状値 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	81.2	81.2	81.3	81.4	81.5
実績値		—			
達成度		—			
評価	令和元年の実績値及び達成度は、令和3年4月頃に確定する見込みです。 なお、令和元年度は、高性能林業機械の導入支援など木材供給体制整備などに取り組みました。				

## (3) 指標3 岩手県公共施設・公共工事での木材利用量

(単位：m<sup>3</sup>)

項目		令和元～4年 (2019～2022)	うち 令和元年 (2019)	うち 令和2～4年 (2020～2022)
公共施設整備 (うち震災復興関連事業を除く分)	目標値	3,500 (2,700)	1,000 (400)	2,500 (2,300)
	実績値	1,310 (835)	1,310 (835)	
公共工事 (うち震災復興関連事業を除く分)	目標値	5,000 (3,900)	1,500 (1,000)	3,500 (2,900)
	実績値	1,696 (1,169)	1,696 (1,169)	
合計 (うち震災復興関連事業を除く分)	目標値	8,500 (6,600)	2,500 (1,400)	6,000 (5,200)
	実績値	3,006 (2,004)	3,006 (2,004)	
	達成度		A	
評価		公共施設の木造化や工事資材等での率先利用に取り組んだ結果、令和元年度の岩手県公共施設・公共工事の木材利用量は3,006 m <sup>3</sup> となりA評価となりました。		

(4) 指標4 エネルギー施設でのチップ<sup>※1</sup>利用量(単位：絶乾トン<sup>※2</sup>)

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	230,809	231,700	232,500	233,000	233,800
実績値		229,064			
達成度		D			
評価	チップの利用量は、熱利用や発電利用での活用に向け、木質バイオマスフォーラムの開催など普及啓発や、バイオマスコーディネーターによる市町村等への技術指導などに取り組みましたが、発電施設における燃焼効率向上への取組によりチップ利用の効率化が進み、利用が抑えられたことから、チップ利用量は229,064絶乾トン <sup>※2</sup> となりD評価となりました。				

※1 熱利用及び発電利用に係る木質チップの量

※2 水分を全く含まない状態での重量



## 2 県産木材等の適切な供給の確保に関する指標

### (1) 指標 1 素材生産量※

(単位：千m<sup>3</sup>)

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	1,489	1,495	1,500	1,505	1,510
実績値		1,519			
達成度		A			
評価	高性能林業機械の導入支援などに取り組んだ結果、令和元年の素材生産量は1,519千m <sup>3</sup> となりA評価となりました。				

※ 1年間に県内の国有林・民有林から生産される素材（原木）の材積

### (2) 指標 2 間伐材利用率※

(単位：%)

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	40.8	41.3	41.8	42.3	42.8
実績値		42.0			
達成度		A			
評価	施業の集約化による搬出間伐や、県営公共工事による間伐材利用に取り組んだ結果、令和元年の間伐材利用率は42.0%となりA評価となりました。				

※ 民有林における間伐材の利用率

### (3) 指標 3 再造林面積※

(単位：ha)

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	749	850	900	950	1,000
実績値		830			
達成度		B			
評価	伐採跡地への再造林など森林施業への支援に取り組み、令和元年度の再造林面積は830haとなりB評価となりました。				

※ 民有林における再造林の面積

## (4) 指標 4 林道整備延長※（累計）

（単位：km）

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	4,515	4,535	4,545	4,555	4,565
実績値		4,543			
達成度		A			
評価	民有林林道の新規開設が概ね順調に進み、令和元年度の林道整備延長は4,543kmとなりA評価となりました。				

※ 民有林における林道整備の延長

## 3 人材の確保・育成、普及啓発等に関する指標

## (1) 指標 1 森林経営管理制度に基づく、意欲と能力のある林業経営体数（累計）（単位：経営体）

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	—	50	57	64	70
実績値		82			
達成度		A			
評価	登録・公表制度の周知や経営改善を目的とした経営体の個別指導等に取り組んだ結果、令和元年度の意欲と能力のある林業経営体数（累計）は82経営体となりA評価となりました。				

## (2) 指標 2 「いわて林業アカデミー」の修了生数（累計）

（単位：人）

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	15	48	63	78	93
実績値		49			
達成度		A			
評価	「いわて林業アカデミー」において、林業経営体の中核となる現場技術者の養成に取り組んだ結果、令和元年度の「いわて林業アカデミー」の修了生数（累計）は49人となりA評価となりました。				

(3) 指標3 新規林業就業者数

(単位：人)

年度	現状値 (2017)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
目標値	109	110	110	110	110
実績値		117			
達成度		A			
評価	林業関係団体と連携した就業相談会や森林施業に必要な技術研修、いわて林業アカデミーによる人材育成に取り組んだ結果、令和元年度の新規林業就業者数は117人となりA評価となりました。				

(参考) 目標達成度の考え方について

県産木材等利用促進行動計画に掲げる指標の達成度については、いわて県民計画の具体的な推進方策の達成度の考え方に準じて算定しました。

達成度：目標値に対する達成率（％）に応じて下表のとおり判定。

目標達成率	100%以上	80%以上100%未満	60%以上80%未満	60%未満
達成度	達成 [A]	概ね達成 [B]	やや遅れ [C]	遅れ [D]

<目標達成度の計算方法>

- 通常の指標（現状値から数値を上げる目標）  
 $(R \text{元実績値} - H29 \text{現状値}) / (R \text{元目標値} - H29 \text{現状値}) \times 100$
- 維持指標等（現状値を維持する目標）  
 $(R \text{元実績値}) / (H29 \text{目標値}) \times 100$

なお、統計数値が未公表であり、現時点で実績値を確定できないものは「―」で示しました。